

令和4年度 東京都立調布特別支援学校

学校評価アンケート（教職員 Q9～15）結果

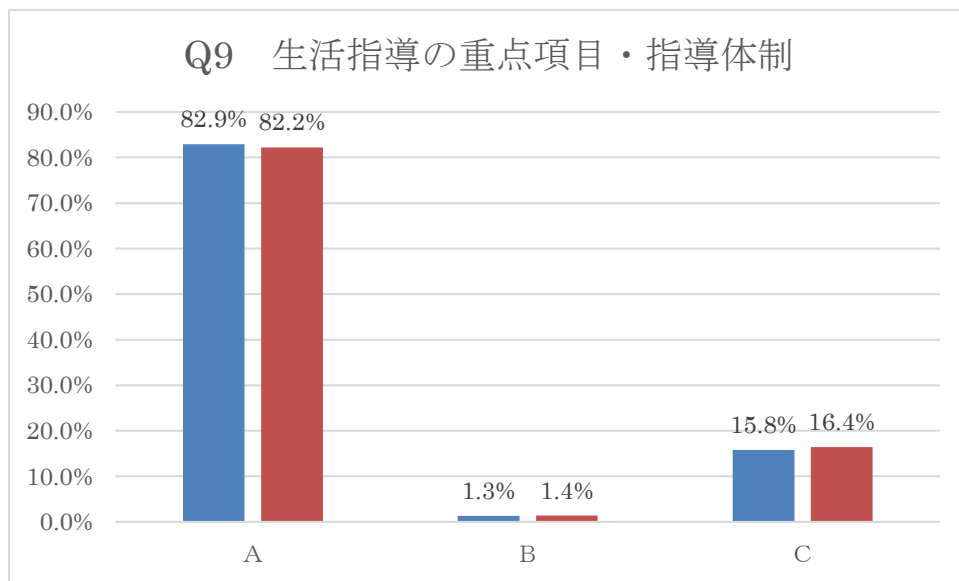
A そう思う B そう思わない C わからない・判断できない

配布数 73(小低教員:20 小高教員:14 中教員:29 養護教諭・非常勤・経営企画室:10)

回答数 73(小低教員:20 小高教員:14 中教員:29 養護教諭・非常勤・経営企画室:10)

回答率100%

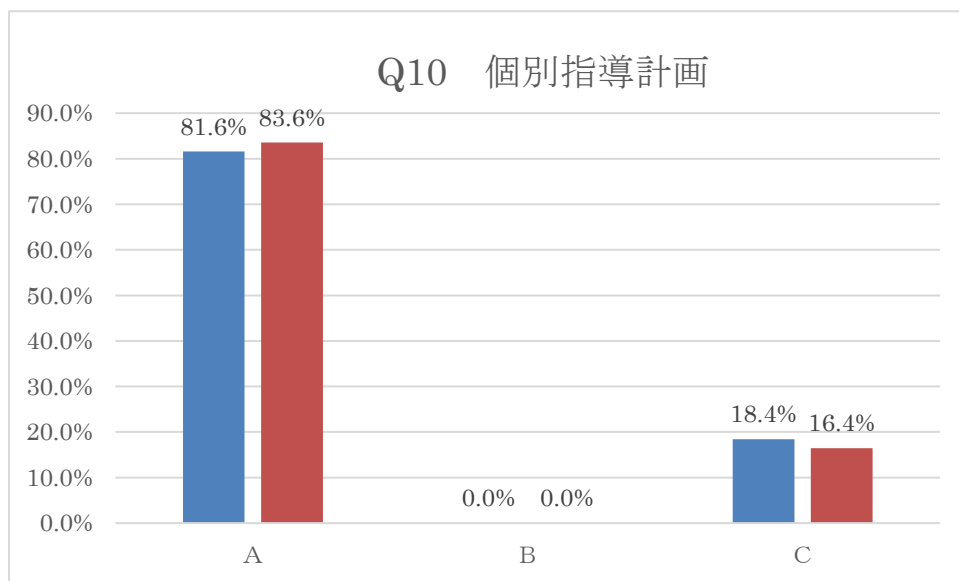
Q9 あなたは生活指導の重点項目や指導体制について確認し、効果的な指導を行っていますか。



- 学年内で、体制を組んで取り組んできたが、欠員状態が年度当初からあったこと、欠員が長期に続いたことで、本来行う内容ができないこともあった。

R3	82.9%	1.3%	15.8%
R4	82.2%	1.4%	16.4%

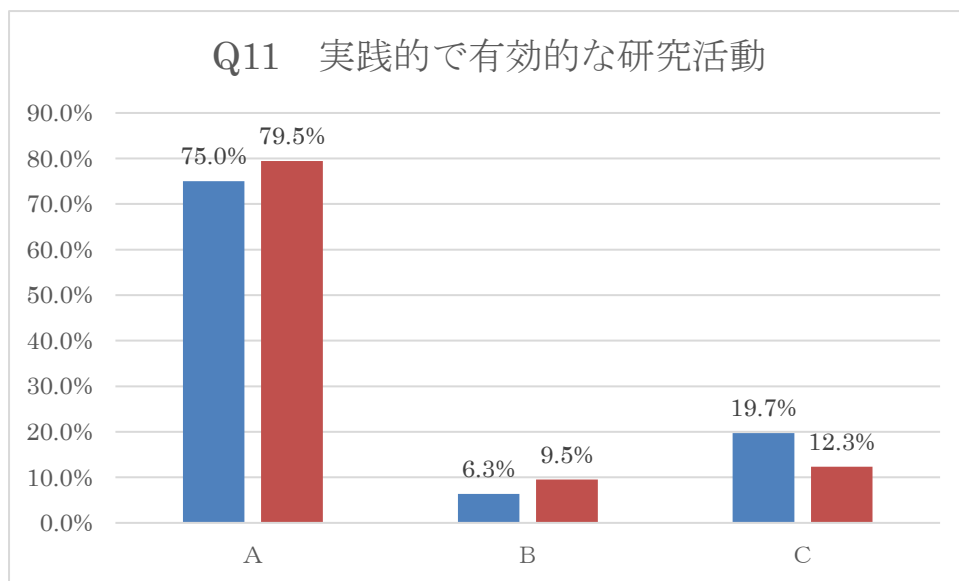
Q10 あなたは児童・生徒の実態に合った個別指導計画を作成し、指導に活かしていますか。



- 個別指導計画の内容を精選しボリュームを半分にするこことで、より個に応じた適切な指導ができると日々感じている。

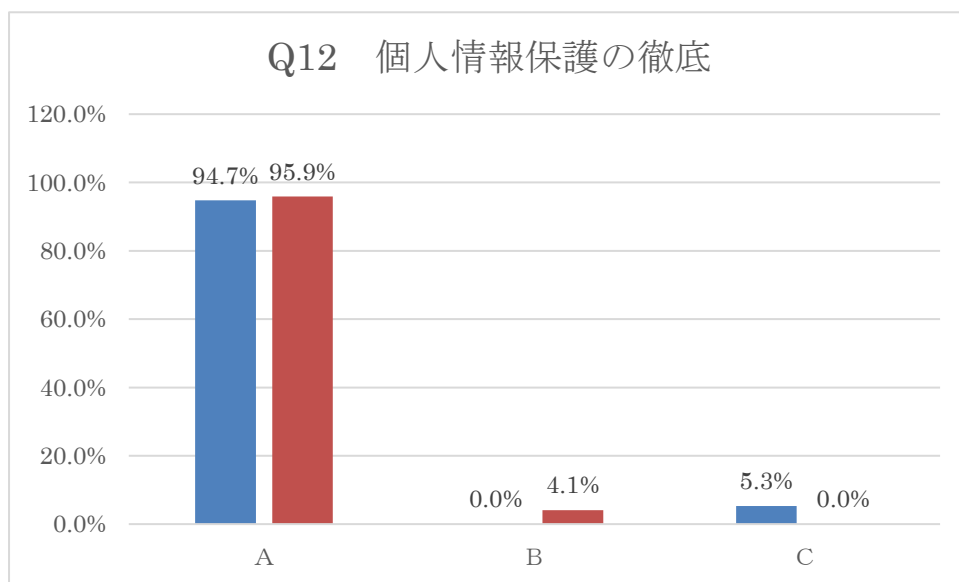
R3	81.6%	0.0%	18.4%
R4	83.6%	0.0%	16.4%

Q11 あなたは研究・研修のねらいや方法を理解し、実践的で有効的な研究活動を実現できていますか。



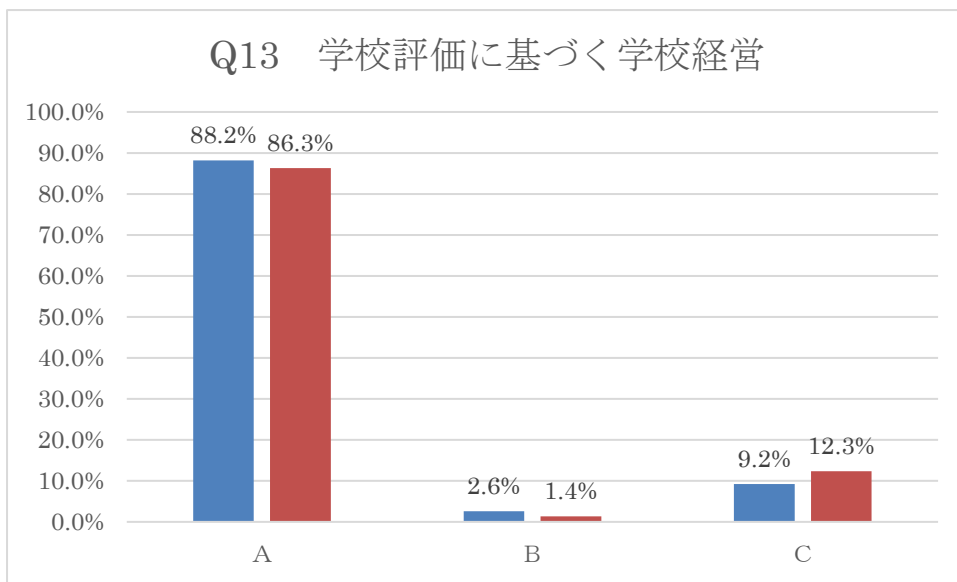
R3	75.0%	6.3%	19.7%
R4	79.5%	9.5%	12.3%

Q12 あなたは児童・生徒の個人情報の管理を適切に行い、個人情報保護の徹底を図っていますか。



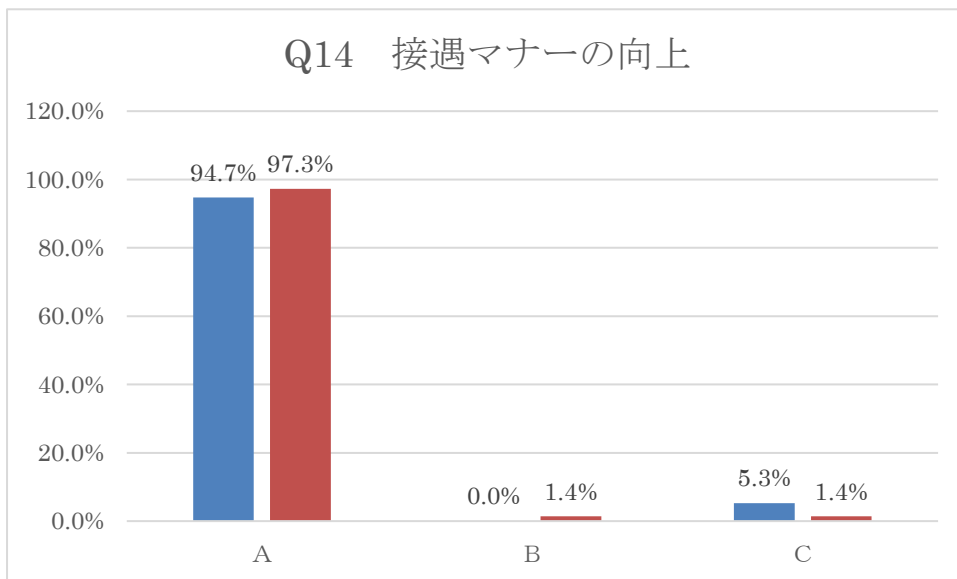
R3	94.7%	0.0%	5.3%
R4	95.9%	4.1%	0.0%

Q13 あなたは本校の学校評価の結果について理解し、教育活動や学校経営の改善に生かしていますか。



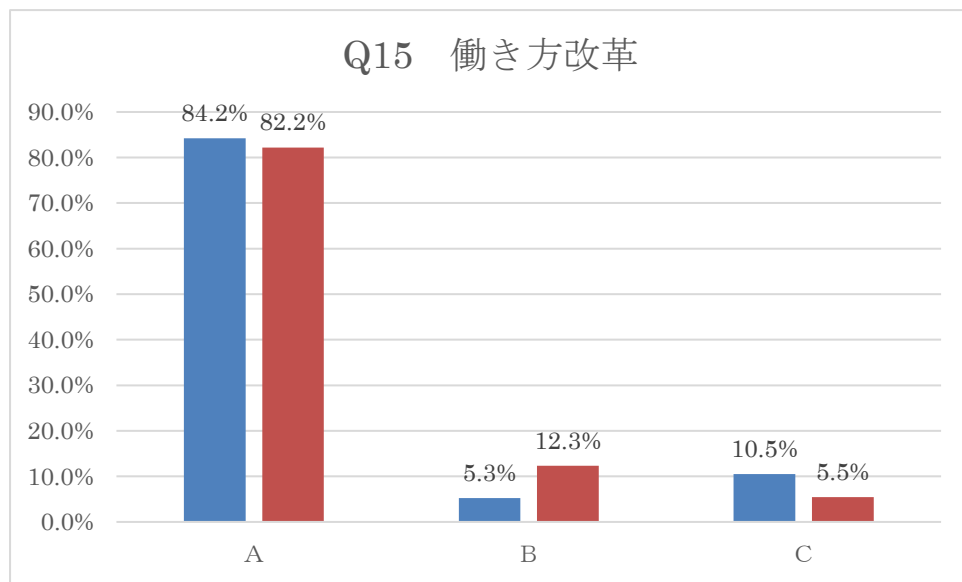
R3	88.2%	2.6%	9.2%
R4	86.3%	1.4%	12.3%

Q14 あなたは児童・生徒のロールモデルとなるよう、服装や挨拶、電話などの接遇マナー向上に努めていますか。



R3	94.7%	0.0%	5.3%
R4	97.3%	1.4%	1.4%

Q15 あなたは「都庁働き方改革」宣言に基づき、効率的な仕事の進め方や校内業務の改革に積極的かつ継続的に取り組んでいますか。



R3	84.2%	5.3%	10.5%
R4	82.2%	12.3%	5.5%

・働き方改革を進めたいが、やらない業務（過年で実施したはず！）<生まれる（新たな）業務となり、実際は業務量が増えていると感じる。業務マニュアルの作成をするにも、作成するための時間が必要。

・自分では、効率的に進めたいと考えているが、業務が進まない人・欠員状態が長期に続いたこと等のフォローは、担当外でもしなければならず、常にやることに追われている。学年業務等軽減されている教員の数が多ければ多いほど、一般教員はきつくなっている感じがする。

・働き方改革は理解しているが、業務改善に努めているが、コロナ感染対策等、業務量が増えているのが事実。また、いきいきプロジェクトは、本校を発信し地域への理解者を増やしていると思うが、児童生徒に学習成果を十分に還元できてはいない。工夫が必要。

・少しずつ取り組みは進んでいると感じているが、まだ足りない部分もあると感じている。教職員のメンタルヘルスの向上を図るためにも、校内業務の効率化と精選を進めることが重要と考えている。また、暗黙知や言語化されていない部分の知識を言語化、文章化、情報化して共有して業務の効率化を進めてほしい。教職員のメンタルヘルスが向上すれば、フレッシュな状態で児童・生徒の前に立つことができ、結果、児童・生徒のためにもなる。

・自由意見

- ①4月の全校保護者会がある日に、学年保護者会にしてみてもどうか。学校に来る日が多いので、同じ日の方が保護者もたすかるのでは。
- ②本校は夏季休業中にヘルメットを持ち帰っていないが、安全点検や大きさの確認をしてもらう意味でも持ち帰った方がよい。
- ③放課後デイに手渡しでお知らせ分を渡している場面が見られる。児童生徒の安全が下校指導のためにも、お知らせは郵送に変更した方がよい。